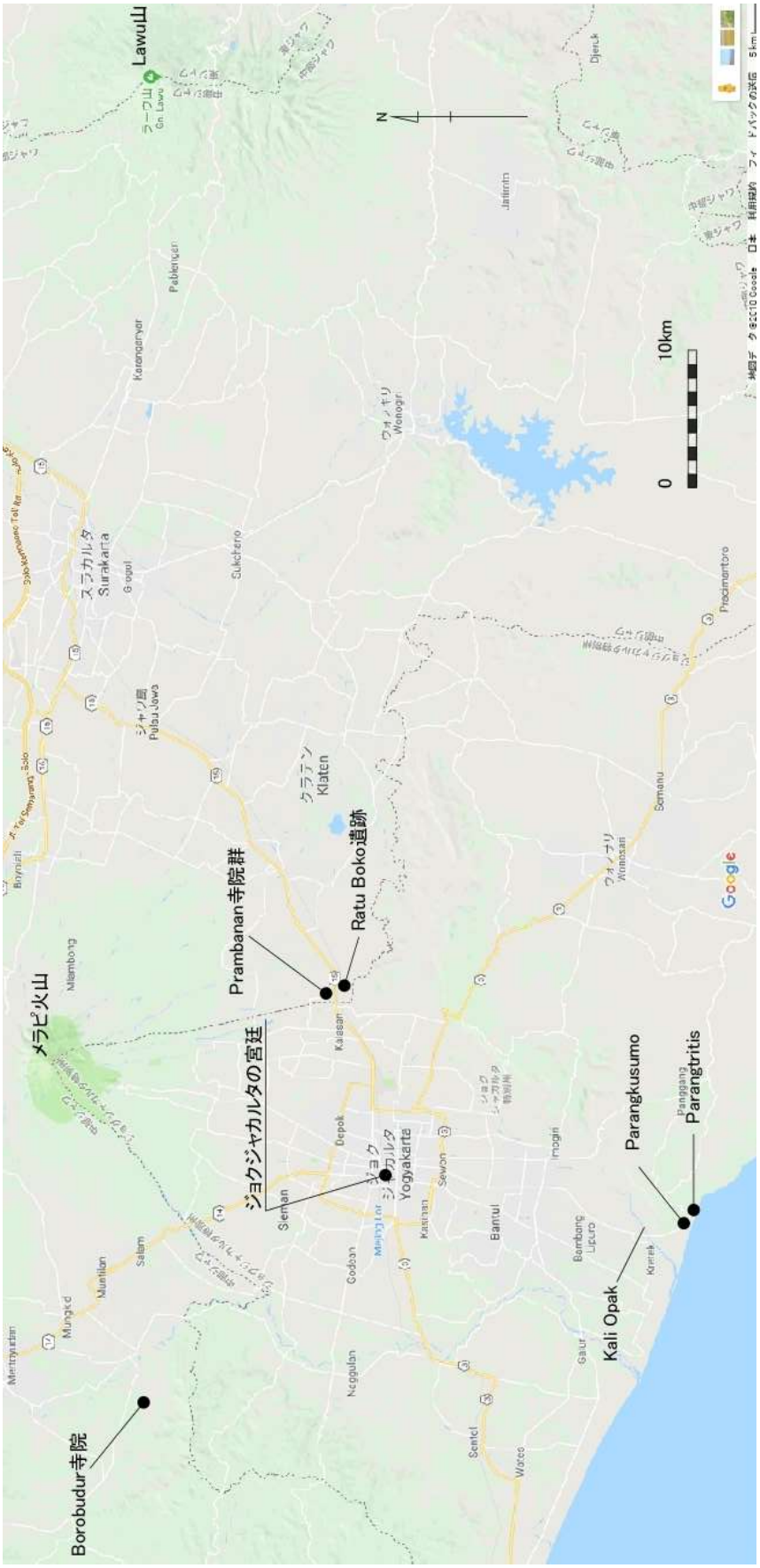
第五章

南海の Segara Sewu 王国

（西暦 851 年から 2008 年までの神秘的・歴史的概要とその政府組織の展望）



Yogyakarta 付近の地図

第一節　神秘的体験が Segarasewu 宮廷にはいり込んだ

ジャワ社会の一部の意見によると、南海は普通の目では不可視の Kajiman[1]宮廷を構成しているのである。すなわち、そこの住人はから成立している。確かにこの意見は全体的にみて正しくはない。霊体は Segarasewu のいろいろな住人の一部であるだけだ。他の住人はアッラーに臨まれた人間の死霊である。南海の宮廷とは大変神聖な宮廷の地域なのである。

個の宮廷の最初の門はとしてあるのはParangkusumoで各地に点在する他の入り口の門とともに存在する。ジャワ社会では、南海の女王は超能力を集中させることができる精霊[2]の女王となっており、したがって南海の宮殿は幽体の力が満ちていて神聖な地域として見られている。この件で、南海の宮廷の存在は、本当は Merapi の宮廷とジョグジャカルタの宮廷と切り離すことができないのである。上記の三つの宮殿は相互に訪問しあったり、援助しあったりして連絡しあっている。〈158〉上記の関係はジョクジャカルタの宮廷が主催する海神祭り[3]の儀式として示されている。

これ以外に、ジャワ社会では lampor[4]の存在を信じている。ジャワ人によると、一旦この lampor の声を聴いた時その人は拍子木あるいは叩けるものならなんでも叩かなくてはならない。その意味は巡回してきている霊界の兵隊たちの馬を進ませることで追い出して、彼らの巡回路周辺の住民に迷惑をかけないようにすることである。Lampor は、戦闘訓練を行ったり、精霊の宮廷間の相互訪問あるいはジョクジャカルタの宮廷への訪問を行っている南海の宮廷からと Merapi の宮廷からの霊界の軍隊から構成されている。

ジャワ人の概念では、かれらは馬のみならず馬車も使っている。一般的に lambor の音は 35 日に一度、夕刻の礼拝に向かう夕方に Merapi の宮廷と南海の宮廷を結んでいる川を経由するとともにジョクジャカルタの宮廷地域を通じて騒々しく現れるのである。上記の宮廷間の関係は、Merapi の宮廷と南海の宮廷の間で

---

1 ジャワ語で霊界の意味
2 原著では lelembut
3 原著では labuhan
4 人間の魂を霊界のために持っていく霊的軍隊の行進

頻繁に精霊の婚姻が行われているゆえに、家族的な性格を有している。一方、ジョクジャカルタの宮廷の支配者と「特別な関係」を有していること以外に、ジョグジャカルタの宮廷側と関係も南海の女王陛下がジョグジャカルタのサルタン国王たちの祖先になっているため、家族的な性格を有している。

南海の宮廷の支配構造に関する説明はジョクジャカルタの宮廷とほとんど同じであると多くの人に信じられている。支配を行っている王は大臣たちと高級宮廷官吏たちに補助されている。南海の女王陛下は国内担当大臣[5]の Nyai Riyo Kidul と国外担当大臣[6]の Nyai Rara Kidul(南海冥府の女王)の二人に補助されている。国内担当大臣の職務は王宮内の高級官吏と王宮内の儀式を管理することを含んだ王国内の業務を処理することである。一方、行政に携わっている王は大臣と宮廷の高級官吏に補助されている。一方国外担当大臣は精霊の兵隊たちを配下において支配することである。この二人の大臣以外に、南海の女王陛下は、行政を進める手伝いをすることで大変に役立つ子供と高級宮廷官吏をも有している。〈159〉

その子供たちに、毎年の結婚記念日を祝うと信じられている Gusti Ratu Aking と Dewi Sumpene RatuKlimah がいる。この毎年の結婚記念日こそが、ジャワ人が Suro の月の間に常に実施されると信じているものなのである。彼ら二人は、普通 mbucal badan (南海の地域で断食と瞑想を行う)の時に忠告と宝物を与える南海の女王陛下と一緒なのである。数ある高級宮廷官吏の中で南海の女王陛下の信仰を持つのは Kyai Taman Wakul と Kyai Jangkung Sari, Jaka Lelana, Jaka Wasesa, Jaka Waspada, Jaka Sembrana, Jaka Jomenggok, Dhadhung Awik である。

南海の宮廷は実世界にあるものと同じものと考えられている。この宮廷には、宮殿や広場、植木、家畜、道路、宮廷使用人など、例えばジョグジャカルタの宮廷のような感じで目に見える宮廷と似ている。Parangkusmo 地域を監督したことのある公務員は南海の宮廷に関する神秘体験を明らかにした。

「1946 年にインドネシア海軍の兵士たちが Parangtritis 海岸付近に駐屯していた。とある晩に、弊社の前においてある大砲の上を緑色の服を着た兵隊が馬に乗って飛び越えていくのをかれは目にした。これからまもなく、多数の兵士たちと近

[5] Patih lebet
[6] Patih jawi

隣住民たちは病気にかかった。この事件は兵士たちと住民たちを不安に陥れた。Hamengubuwono IX 世は直ちにこの事件を聞きつけた。そして、当時 Bantul 県 Kretek 郡の郡長であった私に会うべく使者を送ってきた。この使者は私に、Kretek 郡の郡長として、Parangkusumo 海岸に送り届けてほしいために来訪する Kanjeng Sinuwun からの使者がいつ来てもいいように準備を整えておくようにと指示した。Kliwong の木曜日の晩にその使者、当時ジョグジャカルタの市長であった KRT (Kanjeng Raden Tummengung)の Soedarisman Poerwakoesoema と KRT Poerwoningrat が来訪した。我ら三人は Parangkusumo で修行[7]を行ったがその晩には何の結果を得ることもできなかった。その晩、サルタン Hamengkubowono IX 世がこの修行のための使者を送ってきた目的を知らされてはいなかった。海軍兵士が行った誤った行為が何であれ南海の女王陛下に陳謝するというその目的を知らされた後、そこの管理人に連絡するはるか前の Kliwon の水曜日の晩からその修行を再開した。<160>我々四人は修行を再開したが、宮廷からの使者の二人は深夜になるまえに居眠りをしてしまった。深夜になって私は Parangkusumo に星の雨が降るのを見た。その後、王宮前広場や植木など宮殿が見えたのだった。あたかも私が Penguraan（ジョグジャカルタの宮殿の北側の広場の北側)にいて南に面しているようだった。この場所から、宮廷前広場で列をなしている薄緑色(gadhung mlati)の軍服を着たすべて女性の兵隊たちが乗馬しているのを見た。それから間もなく日傘をさした南海の女王陛下が登場し、閲兵した。居眠りをしていた Hamengkubuwono XI 世の使者の足が触れたため、幻想はそこまでで消えてしまったのだった」。

上記の元公務員の経験は、南海の宮殿は王座と魑魅魍魎[8]からなる守備隊がそろっていると述べた Moerywati (t.t:10)がそれを補強している。南海の宮廷の住人の大部分は女性であるとも述べている。一方、そこで行儀の悪いことをしないかと人々が常に心配するゆえに Parangkusumo は聖なる畏れ多い場所であると社会的に認知されている。この海岸でいろいろな禁忌を犯すかれらは自分自身にとって良くないあるいは悪い事件が起きると信じられている。

---

7 原文は tirakat とあるので断食などの苦行であろう

8 原文では Jin, Peri, Wewe dan Tong Tong Sot となっている。

ジャワ社会では、行政上のみならず毎日の生活においても南海の女王陛下が自分の従者をしょっちゅう追加していると信じられている。南海の女王陛下はGusti Ratu Akingという名の子供と結婚させるために毎年女性を一人必要としていると別なバージョンでは述べている。このバージョンは、これをサポートする参考資料がまだないために伝説の形をとっている。この必要とされている従者たちはまだ生きている人間の魂からしばしば採用されるのである。<161>南海の女王陛下(より正確には南海冥府の女王 Nyai Roro Kidul あるいは Nyi Blorong)は必要とされる人達を探すために兵隊を派遣するのである。

南海の宮殿での生活は人間界での生活と差はない。鍛冶屋やダーラン、ガメランの歌手、大工などこの世界で生きている人であり、南海の女王陛下が必要とするとははいつでも彼らはその特技で宮廷官吏となるのである。犯罪を犯した人といえども、南海での生活でも人間に悪事を働いたり人生の邪魔をしたりするのである。このグループは南海冥府の女王あるいは Nyi Blorong 司令官の下にある。南海の女王陛下の宮廷の住人になるために女王陛下が必要とする人は悪魔に取りつかれた死んだ[9]か、遺体が見つかることがない南海の波に巻き込まれて溺死したと普通言われている。ジョグジャカルタの多くの庶民の言によると、Parangkusumo 海岸で悪魔に取りつかれて死んだ人は、しばしばその人の前に海があるのがわからず、素晴らしい道が続いているとだけわかっているとのことである。あたかも、その眼前には非常に興味を引くなにものかがあるようで彼はそちらに向かって押されていくのである。南海の宮殿の住民の大部分は女性であるので、一般的に南岸で悪魔に取りつかれて死ぬ人は男性である。

一部のジャワ人の信心によれば、上記の従者候補の募集は南岸において南海冥府の女王が行うだけではない。Merapi と Lawu[10]などのグループの山々の王宮の霊界の支配者たちの協力事業で、上記の山々が行う募集作業である。この意図された人たちが意図せずこの惨劇(募集)に遭遇する前に他の人がそれと教えてくれるので、時々この募集作業は失敗するのである。

この問題について、著者は同様な事件を経験したことがある。数人の友人と著

---

9 Mati Kalap
10 ジョグジャカルタの東側にある高い火山。山麓には聖地が多い。

者が 1995 年に Lawu 山に登山した時、そのうち一人がグループから離れた。幸いにしてそれほど遠くなかった。ジキールやウリッドを含んで接触を試みた後、最終的に行方不明になった友人の声がやや遠いところから聞こえた。著者は偶然にも Lawu 山地域のあちこちの場所をかなり知っていた。〈162〉その友達が歩きやすい幅広い道を見たためにこのままっすぐ進むぞと叫んだ時、著者はその友達に立ち止まって待てと叫んだ。幸いにもこの友達は著者の忠告に従った。著者は彼を迎えに行き、目をすぐに閉じるように教え、息を吸い込んで数珠とともにタクビールを唱えさせた。その後著者は彼に目を開かせた。そこで見たものは、その友達を脅かせて怖がらせた深い崖の端から約 50cm の場所であった。下山の前と麓に着くまで、著者は、他の人達には話さないようにと注文したが、そのすぐあと、我々は彼をグループに戻るように誘った。著者のこの体験は Lawu 山麓付近の住民に確認したところ、この事件は、Lawu 山の支配者と南海の女王陛下が侍従を探して採用する方法の一つであると聞いたのだった。

南海の女王陛下の存在を認知しているジャワ人達の文化では、彼らが悪魔に魅入られて死んだ人は南海の王宮で聖なる人生を送ることができると信じられているため、悪魔に魅入られて死ぬことが喜んで受け入れられるのである。家族の一人が南岸で行方不明になったジャワ人の例がある。この家族の一人の遺体が発見できなかった時に彼らは、いつどこで子供の遺体が見つかるかを知るために複数の神秘主義者と連絡を取るのに忙しかった。連絡が取れた数人の神秘主義者たちの答えはほとんど同じで、子供の遺体はもう見つかることはないだろうし、この子供は南海の王宮の住民となって安穏と生活しているとのことであった。がっかりはしたものの、子供が南海の王宮に居を定め、冥界をさまようことがなくなったゆえ、この家族は安心したのであった。

緑色の服を着た人は悪魔に魅入られて死ぬと信じられているので、Parangkusumo などの南海岸で緑を着用するのは禁忌である。Merapi 山でも Lawu までも緑色の衣服を着用するのは禁忌となっている。。ジャワ人の解釈では、緑色(gadhung mlati)は南海の王宮で大変好まれて使われているのである。南海岸で緑色の服を着た人は南海の女王陛下の兵隊によって南海の住民として取り込まれてしまい、この人は彼らの王宮に入れられてしまう。このように、この人たちは元の

場所に戻れることはなく、永遠に南海の王宮の住民か宮廷官吏になるのである。

主犯にいつ、どうやってどういう人がなるのかという要素についてちょっとだけでも分かるために、著者は以下に神秘的な歴史的な性格を持つ解析、あるいは神秘的な体験という眼鏡の歴史、すなわち、南海の王国で神秘的にあちこちと精神世界に直結する神秘的なチャネリングを通じた神秘体験について発表しよう。

第二節　南海の霊界王国への侵入

ジャワの住人にとって、南海の王国は環境と生活に重要な海域であるばかりではない。自然と霊界への畏怖に関する神秘的なものも含まれている。ジャワは海に囲まれているとはいえ、人間界のための「海岸 = pesisir」として理解されているのは停泊が可能な北海岸(東海岸と西海岸の一部も含む)であるがゆえに pesisir と呼ばれている。というのは、pasir (砂)と pasar (市場)に関する機能も含まれているからである。南海岸は南海の自治領である「南海の王国の領土」と理解されている。この件は海岸と海域が存在する事実に基づいているのであろう。〈164〉

南海の女王陛下の想像画。南海冥府の女王あるは Nyi Blorong とも言われている。

海から激しく吹き付ける風は大波を伴ってくる。陸地の一部は標高 1000m にも満たない。緩やかな傾斜を持つジョグジャカルタからチラチャップの中間地域を除いて、その大部分は急な高い崖が石灰岩の台地の上に立っているとは言え、バニュマス層の海岸地域である。この海岸の存在で、多数の住民たちはこの海域での活動で命をつながなくてはならない。「霊界」と関連する Segara Kidul のミステリーは、この地域にあると疑われている霊界の渦に対する信仰とジャワの土地の住人の神秘的現実感は疑わしいものである。

この件を示している歴史上の記録の最古のものは西暦 730 年のものである。Sanjaya が支配権を奪還するために Galuh から Merapi 山に移動した時、南海の女王陛下(Rhyangta Kidul)の支援を願った。これに続く時代には、礼拝堂や Syekh Bela Belu と「南洋」としてのベトナムの外部の Gagak Aking の伝説が存在することで強化された。

激しい自然と霊界、そして政治的要求の融合は、Kali Opak の河口から遠くない場所に位置する南海の王国に関する全ての伝説から南海の女王をその中央においたのだった。これで、女王陛下は美しくて優雅な女性として描かれるとともに、中華帝国が東南足性と呼ぶようになってから、海がその原因となっている自然災害をしょっちゅうもたらす故、尊敬し、礼賛し畏敬される永遠の著名人として受け入れられた。神秘主義に基づくと、南海からの自然災害はそのほとんどすべてが大自然に起因する。月や太陽の公転や地球内部から押される大陸プレートの移動、オゾンホールへの影響、極地での氷の溶解、さらには海岸の地理的変化である。これは気圧、風、潮汐、津波を含む波浪をもたらすものなのである。

これらすべてが南海岸の厳しさを補強している。十分な専門的説明もなく、十分な霊界の証明に関する知識も未発達であったし、非難される魑魅魍魎と南海の女王なのであった。〈165〉

本当のことを言うと、幽界は普通の存在である。南海の女王はこの幽界という文脈の中に含まれる。幽界の存在を理解するために、ここに続く情報以外に、幽界地震からの情報を得るように努力しなければならないことは確かである。宗教面から見た幽界はしばしば霊界とも呼ばれる。

幽体(gaib)とは目に見えず、五感に検知されず、実在せず、消滅し、不可思議であるものである。(KBBI 2006:326) 幽界と精神界の文脈では、幽体は沈み込むことを意味することが可能で(Munawwir, 1997:1024)、不可視になる。太陽を例にとると、太陽は地球の反対側にあるとは言え、夜間には存在しないことを意味するのではない。霊界とは我々の現実世界の裏側の存在なのである。だからそれはあちらの自然界でと述べたのだった。直接知るためには、現実世界の壁を通り抜けられるか、あるいは我々を霊界にどっぷりと漬けなければならない。信仰とは感覚の評価であるから、口先だけでなく信仰心を抱いている時ならば (Nawawi al-Bantani t.t.: 1/4)、幽体の件は、感覚であるとはいえ五感で感じ取れるものではない。そして命と魂が存在するという感覚がある。それは抽象的なものであり、見ることができたり、到達することができないのである。(al-Mishbah, 2002:1/91)

幽体への理解は語幹と理性では理解しがたいものであることを意味することはすなわち、感覚であり、所有している五感を通じて突然見つかるものではない。幽体は以下の二種類に分類される。(1)アルクルアン第 6「家畜」章の第 59 節[11]に wa ‘indahu mafatih al ghaib「幽玄界の鍵はアッラーの御許にあり」と示されているような、それ自身が主張や何かの兆候を持たなかったりする幽体。(2)アッラーの存在やその性質のような主張や予言、それに関係することと、さらには幽霊や魂やその種類の幽界の住人に関する情報までも有している幽体である。

信仰熱心な人の特徴は、見えないものについても信心深くなければならず、心の中にあるアッラーからの魔力ある光線に対して信心深い彼らは、このようにしてハディースの”al-mu’minu yandzuru bi burillah”「信心深いものはアッラーの光をみる」なのである。これとともに、魔力には二種類あって、その一つは他人から我々に対するものであり、もう一つは我々から他人に対するものである。我々に対して不可思議な他者の存在も魂の世界なのである。<166>我々の霊魂は、この現実世界をその源として五感で感じられる指導者にかかっている要因なのである。他者に対する我々の魔力が存在することもまさに幽体の魔力なのであり、すなわ

[11] 6-59. 幽玄界の鍵はかれの御許にあり、かれの外には誰もこれを知らない。かれは陸と海にある凡てのものを知っておられる。一枚の木の葉でも、かれがそれを知らずに落ちることはなく、また大地の暗闇の中の一粒の穀物でも、生気があるのか、または枯れているのか、明瞭な天の書の中にないものはないのである。

ち、我々が物理的にその形を見ることができない神なのである。(al-Buruswi: 1995: 110-113)

これから、air asin 形式のデータに基づいて著者は南海の王国の簡単な歴史を研究することにする。著者も MT.Srifin (2008: 12-17)と同じ方法と、同じデータを掘り当てようとしたほかの情報源で調査を行ってみる。このデータはここ 10 年間に MT. Arifin が収集したもので著者も最近二年間にわたりデータの収集を行ったものである。

第三節　西暦紀元前 851 年から 2008 年までの南海霊界王国の歴史

南海の女王という呼び名は、彼女の支配下にある幽界社会の意見に基づいている。王国の支配地域は、ジャワの南海岸のみならず、北西ペルシャと中間部分、パプアを除くほぼすべてのアジア地域である。インド洋に加えて、マダガスカルのような南アフリカ、黒海、喜望峰である。現在、南海の王は幽界に存在するすべての王国の 187 人の大王を統治している。

[12]

Kereta kencana に乗る南海の女王の絵。彼女の王国は実際に敵対関係と陰謀、戦争に常におおわれている。

[12] この絵は原本の挿入図と異なる。

南海の女王の王国は、中部ジャワに位置するKrendhamanginten に支配の中心がある Segarasewi という名前である。<167>都が王国支配地域の南部にあるため、kedhaton kidul (南の王宮)とよばれ、その王は南海の女王と呼ばれている。南海の女王は、一定の条件を満たしているゆえに支配者あるいは最高位のエリートと認められて自称しており、この話は行政を構成している幽体のグループの科学的王道の執行である。この執行は立派であり科学の専門家という性質を持って行われている。上記の立派な性格とは panatagama[13]と ora lanangan[14]の要素である。科学的見地から、彼は試験に合格しなくてはならず、pecut pamutih[15]と kuku pancanaka[16]という王宮の至宝を握ることができるのである。

Segarasewu 王国は紀元前 851 年頃にも Nabi Khidir (知識の守護者)と Jagal Abilawa (伝統の守護者)の助けを得て Sang Hyang Tunggal[17]が建国した。Sang Hyang Tunggal は、Segara Anakan (Blambangan[18])の修行場に都をおいて紀元前 851 年から同 451 年まで統治した。

四百年の統治の後も Sang Hyang Tunggal は行政上の最高権限を、Ratu Dewi Angin-angin (BC. 451 - AD. 1549)という名で知られる皇后としての Dewi Kumarageni とともに、Sonji Tanjungbang (クリスマス島)の宮殿で統治を行った Angin-angin 王に譲り渡した。同王は紀元前239年に勃発した戦いで命を落としたので、行政上の最高権限は2000年間(BC 451 - AD 1549)にわたって皇后に移譲されることになった。皇后陛下は Panembahan Ismaya (神秘主義の顧問)、Samoa 諸島出身の Rubikhan (大臣)、Dyah Retna Yuwati (最高司令官)のサポートを得たのであった。Retna Yuwati は若い頃に Ni Blorong という名で知られた Nagareja の娘である。彼女の最初の夫は Tunggulwulung で Aji Saka II 世の息子であった。

Retna Yuwati は Raung 山出身の Kala Gandamayit と再婚させられたので、Dewi Kalayuwati の名で知られるようになった。上記の統治においても Rubikhan 大臣と Retna Yuwati との間の抗争の影響が多数あった。Ketangga の Telengbumi に宮殿

13 宗教生活を統制する軍司令官で宗教上の指導者。
14 男性性でないという意味か?
15 Pamutih 氏の鞭
16 影絵芝居の Barata Bayui に関連する登場人物の武器
17 日本語では「一人っ子の神様」という意味になろうか。
18 東部ジャワのバニュワギ付近か。

を置いた Durga とその師となったエジプト出身の Bortofonio の影響が Retna Yuwati を制御できない状況に追い込んだ。Bortofonio は、ナイル河が地中海にそそぐ約 50km 上流側の西岸にその中心が位置する偽予言者(Dajjal)組織の首領であった。この偽予言者の主要な追随者たちはハイチのバハマの Kalabagos にその総司令部を置いていた。ジャワ島における偽予言者たちの最大の中心地は Serang と Purwakarta、Tuban であった。

Retna Yuwati の必要性と野望のため、彼女は Bantakasuksma 級の宮廷の宝物の一つを盗み出し、その後、軍の最高の指令権を得て、Ratu Tilasih, Ratu Sri Sayeti Asmara, Raha Kumalareksa, Raja Abraham, Raja Gusmak Ali, Raja Jin Mahesa Kumara の影響力を有する人たちを抱き込んだ。彼女の宮殿は Pandan Segege に正門があるとともに、Krakarau の南側の Krendhawahana と Tirtadhasar 宮殿の横にある Kamale 寺院群に宮殿の中心があった。Retna Yuwati は影響力と魔力、ますます広くなる支配地域と軍の統制力を持っていた。このことは Segarasewu に二つの勢力の誕生を助長したのであった。

西暦 1292 年頃でまだ陰謀が制圧されていなかった時、Dewi Angin-angin 女王は Kalak 山の庇護を願い、Ngusmanaji 僧正と強力な軍隊を有する Begawan Danu の支持を得た。同女王は政治の中心地を Suryadhamar Nitakalapramesthi 宮殿とともに Kenarehen に移した。支配の中心地は Sorebaya 洞窟で、他方、魔力の発展の中心地となったのは、Kalak 洞窟の宿舎とともに Lempursewu 修行場であった。この洞窟は、Paranggupito あるいは Kismantoro を経由する Punung-Wonogiri 街道の横にある、Pacitan 県 Danareja 郡 Kalak 村に位置する[19]。

第四代の南海の女王は、Dewi Angin-angin の二番目の弟子で西暦 1549 年に選出された、一般的に Ratu Ayu という名で呼ばれている Kencanawungu(統治 1549-2003)である。この女王はヒンドスタン人[20]のような楕円形の顔で体型はすっきりとし、身長は約 172cm の完ぺきな美人である。

この政権交代は 1700 年に反乱を起こした Retna Yuwati に不快感を掻き立てた。

---

[19] 8.187597S, 110.954466E = S 8° 11’ 15.35”, E 110° 57’ 16” パチタンから西北西に約 17km の地点。

[20] インド北部に住むいわゆる「インド人」

Retna Yuwati は実際に Dewi Angin-angin の一番目の弟子であり、女王陛下の姪でもあった。<169> Pacitan 海岸での大戦争で、Ratu Ayu の軍は敗北を期し、ジャワの南岸地域の大部分は敵の手中に落ちた。Retna Yuwati は「南海の女王」としと自称して王位に上った。組織的な Ratu Ayu の指導と Sunan Lawu (Sepuh)の魔力があったにもかかわらず、Rembang (Mpu Baradhah), Mantingan (Syek Jumadil Kubra), Suku Domas (Nyampo), Gunung Bromo (Dada Pekak), Blambangan (Maulana Ishak), Alas Purwo (Mahesalanang), Segara KIdul (Bengawan Danu)の各地のネットワークの活性化を推進した。ワリソゴの影響が内陸部の伝道組織を含めて、Banten, Cirebon そして Tandes[21]で開花した。Retna Yuwati は Ratu Ayu を退位させるのに成功はしたものの、Ratu Ayu の影響は Amangkurat I 世[22]の統治下をはじめ Mataram の宮廷に及んだ。

Dewi Kalayuwati (Retna Yuwati が Raung 山の Kalagandhamayit の妻になったためこう呼ばれるようになった)は Durga[23]の魔力を支配し Dajal[24]の知識としての月の強さを吸収した後、超能力を持つようになった。Kalayuwati の軍事力を強化するために海岸地域の人達を有害な方法であるいは金持ちにしてやるというような約束をして集めたのだった。同時に能力を向上させるために、命ある動物と人間あるいは血を提供する特別な伝統儀式を発展させた。Kalayuwati の強さは多数の人間や家畜さらには幽体の犠牲のもとに出来上がったものだった。

Retra Yuwati が強力になってきたことで脆弱性が高まったため、Krendhamanginten の宮殿が 733 年に Lawu 山の Argapura に建てられた。Krendhamanginten はマジャパヒトに似た宮殿群であり、周りを集落と Sulaiman モスク(二階建てで中央部にドームを有する)に囲まれていて Lawu 山の千の薬草と花々がある公園を有していた。霊界から見るといくつかの門があった。人間界と霊界の間の第 1 の正門は Cemarasewu 付近にあり、Jalatunda の泉付近に第 2 と第三の門があり、Argadalem と Argadumilah の峰の間の Jalatunda の泉の 100m 上に第 4 の門がある。<170>その後、さらに二つの門がある、Jalatunda の方向から見る

21 スラバヤ西郊の町。北幹線沿いで、グレシック南方約 10km。Banten も Cirebon もサルタン国。
22 マタラムの第四代サルタン。在位 1646 年 - 1677 年
23 ヒンドゥー教の女神で「近づき難い者」の意味。
24 世界の末期に現れる悪魔

とその地点へのアクセスは、東側からは Marcukundha 洞窟から、南側からは Ampyang 山から、西側からは Grojogan Sewi、北側からは Atasangin 山経由である。

支配と超能力の確立に関して、Hyang Ismaya と Ki Ajar Dewasurya の知遇を得て Ratu Ayu と Sunan Lawu は人間とのネットワークと幽体とのネットワークに対する影響を拡大した。Ki Ajar Dewasurya はジャワの土地を監視することになった。Hyang Ismaya は霊界を制御するとともに神秘的な顧問となった。Sriwara Puspakencana と一緒に Ratu Andarawati に支援されて、王国の大臣として機能するとともに海域を制覇し、Ratu Mayangsari は Candi Sukuh 寺院群の宿舎で Puri Sukuh の Rahinaya と一緒であった。Ratu Kencanasari (Banjaransari 殿下と Sogaluh の Ratu Prajna の娘)は、Goa Langse (Pamancingan)の宿舎と Kedhaton Sonji で Rara Dalenggi と一緒であり、他方 Goa Kiyana (Gunung Srandil)の宿舎は Gus Muhammad と Syekh Abrurrahman の支援を得た。西ジャワのために Ratu Ayu は Pelabuahn Ratu の Ki Ageng Sentalamaya の代理となり、Pajajaran の Ratyu Mayang 支援も受けた。

南海の美人女王

上記の著名人の中で、ジャワ神秘主義に関係して、しばしば南海の女王として受け入れられている著名人がいて、それは Ratu Andarawati である。Ratu Andarawati は南海冥府の女王という名で知られている Angin-angin 王夫妻の娘であり Cempuri Rahegwesi (Kahtabgan Dalephi)の女王である。<171>この娘こそが Panembahan Senopati の霊的な妻(garwa alus)になり、霊的な妻になった時には Ratu Pagedhongan と呼ばれた。Andarawati はこのように南海の女王の大臣としての地位を得て上記の行政組織の一部として見られている。

2001 年の第一四半期以降に、その翌年にソロモン王が決意した支援のある人間界のネットワークを確立することに Ratu Ayu は成功した。2002 年の Muharram あるいは Suro の月から、南海の軍隊のネットワークを回復するために新しい総司

令官が昇進した。Prahaya 王(ヒマラヤ)の共同作業のおかげで、最終的にはジャワと南海とインドの軍隊が統合された。それ以外には al-Qadr の天使すなわち天使 Rayuz (三番目の天の番人)がいた。

2003 年末に、新任の総司令官が Pasir Kalili の鞭[25]から生じた悪を一掃し始めた時 Cirebon の Kacanegara で戦争が勃発した。この戦いは Ujung Kulon[26]、Ponorogo[27], Blambangan[28]の組織を巻き込んで拡大した。Cilacap[29]の pasir kaliki の中心部が破壊された時、Retna Yuwati は激怒し決死隊である追討軍を向かわせた。東方にいた軍隊との間の連絡が途絶えていたのだが、その戦いの中で 2003 年 12 月 14 日の Ujung Kulon[30]の戦いで、Retna Yuwati の大軍は 150,000 名の連合軍をもって打ち破ることができた。Retna Yuwati と Durga は Tirtadhasar の宮殿で降伏した。上記の連合軍の中で最も勝利を決定づけたのは Al-Qadr の天使の軍であった。反乱の首謀者たちは裁判にかけられ、死刑判決を受けた。

2003 年 12 月 30 日に王位は Hyang Tunggal に移譲された。同時に、東部海域の制海権をもつ Ratu Mayangsari (Sukuh と Dalepih の Widonnonggo)で、西部海域の制海権を持つ Ratu Kencanasari (Lange洞窟と Pelabuhan Ratu の)、公開に制海権を有する Ratu Andarawati に支援された Ratu Kencanawugu がまだ制海権を持っていた。これらの四人はすべて南海の女王である。〈172〉

王国の統制の復活には長い時間と大変な困難を要した。さらには南海の王国の一部の地域でもあるアチェでは津波[31]、ジョグジャカルタ・クラテンでは地震[32]として知られている大災害に見舞われた。ますます広くなった地域での行政能力はまだ十分とは言えない。このように、王国の権力はジャワの南岸だけでなく、西ペルシャから地中海の間とパプアを除く全アジアをカバーしている。それに加えてインド洋全水域とマダガスカルと黒島、喜望峰地域がある。

2525 Pasir Kalili はバンドゥン市内の地名だから、cemeti pasir kaliki とは Pajajaran 王国からの影響のことか。
26 ジャワ島最西端。
27 東部ジャワ州の南東部に位置する町。
28 東部ジャワ州の Banyuwangi 付近
29 中部ジャワ州の南西部の都市
30 バンテン州にあるジャワ島最西端。
31 2004 年 12 月 26 日
32 2006 年 5 月 27 日

本当は種々の事件から、Retna Yuwati の叛乱以来、Kalayuwati の道具としての動物や人間、霊体、pesugihan などの犠牲を使って力を結集して、ノルマを採用しない Retna Yuwati の性質は南海の女王に対して過剰な良くないイメージをもたらした。Kalayuwati の支持者の泥に汚れた血はしばしば霊界内に多数の問題を生んだのだった。それゆえにエジプトにその根拠地を置く彼らのネットワークの必要性からしょっちゅう(自然)災害を利用したのであった。アチェの津波の惨事で彼らの行動で南海の女王を分断することに成功した。実際には反乱派はジャワでも津波が起きることを望んでいた。現在に至るまで津波はまだ起きておらずただただそれが起きないことを望むのみである。霊界の問題を一般的は理解していない人間社会は上記の悲観的な事件の全てを南海の女王になすりつけて非難した。

2008 年 1 月 9 日 Suro の月の 1 日の晩に、Retna Yuwati と Durga を含んだ南海の王国での反乱の責任者たちに対して処刑が実施された。同じ時期に Ilmu batubulan の適用に対する戦いに負けた後で 2008 年 1 月 14 日の晩に Bartofonio も検挙された。

それに続く交代の際、Sri Maharaja Hyang Tunggal の称号をもって即位した Ratu Ayu の従者としての新しい総司令官が任命された。業務を実行するうちに彼女は宝刀 Nyi Ageng Mahespati(13 の曲がりがある)を南海の女王の支配のシンボルとして、同時に超能力の独占者として用意したのだった。このようにして南海の女王の支配は Hyang Tunggal の手中に入ったのである。Alas Krendhawahana[33]は Ratu Saraswati に与えられ、Alas Ketangga[34]は Ratu Ayu のコントロール下に入った。<173>Bali と Lombok 地域は Patih Lestari の支援の下に Retna Sawiji に与えられた。財務は Genthong Gotri と Dewi Lanjar の秘書が担当し、実施は同時に来た王国の女王として承認された Nagasukma Jalma である。王国財産の管理者は南海の Nagabirawa と Khayangan Api の Marwal であり、その行政監督と会計監査は Nagaribu であった。Krendhamanginten の事務方は Watu Gunung 大臣と Pancarupa(内務)の脇に Pringgandani[35]の Sunan Lawu Muda と Cemara Tunggal[36]の

33 中部ジャワ州サンギランにあるジャワ原人博物館付近
34 東部ジャワ州 Ngawi 県 Paron 郡 Bbadan 村にある修行場
<http://omdoyok.web.fc2.com/Ah_Indonesia/Aind-46/Aind-46.htm>
35 中部ジャワ州の Karanganyer 県 Berjo 郡 Tlogo 村
<http://omdoyok.web.fc2.com/Ah_Indonesia/Aind-43/Aind-43.htm>

Sunan Lawu Cilik と Tunggul Wulung と Kertapati (外務)が共に配置された。日常業務においては宮内業務”ndalam keraton”は Ki Tangguljati と Dewi Respati、Ki Ajar Mintaraga が管理運営した。

アチェの津波の後で南海の王国が霊界で復権した時、Dajjal に率いられた悪 Iblis Curawan 王国が新たな敵対相手となった。この霊界の王国は、諜報組織と海軍力に関する大変優秀な武器を保持していたためその軍事力はとても強力になったと同時に霊界からの二人の師匠、霊界からは Banul Jan すなわち Adajil(jin の四代目の王)と Iblis (jin の三代目の王)にその権威が支持された。南海の王宮に広く効果的に張り巡らされた諜報機関の介入は、霊界での知識層ネットワークを独占している Hyang Bagas Purwa がそれとは気づかないようにして南海の女王の顧問(penasihat)としての Adajil を巻き込むことによってより大変強力になった。この支配も、宮廷の第 1 軍の存在に対して影響をあたえる強力な軍隊の支持を有している司令官の一人である Damarwulan を昇進させることで支持を受けた。

残念なことに、宮廷がやや静まった後、Raja Persia と Damarwulan を連携した Ratu Ayu と、他の女王と Genthong Gotri と Maikmaya を連携した Sunan Lawu の間での抗争の影響で宮廷には混乱が生じた。Ratu Ayu はアラブの地の Ratu Arini の配下の kajiman のネットワークと Adajil の魔力を得たため、Sunan Lawu のネットワークは排除されてしまった。〈174〉

しかしながら、上記の Ratu Ayu の連携の影響は Adajil に直接率いられた Curawan Iblis 王国の介入するところとなってしまい、後日に大戦争になってしまったが、東ジャワ州の Popoh 海岸の近く[37]で Curawan Iblis 王国の海軍を Hyang Tunggal が破ることに成功した。不明確な数々の出来事を経由して、最後には Ratu Ayu も権力の第一線から退けられてしまった。

---

36 「一本松」の意味、これらはすべてが Lawu 山麓に位置する

37 下にあるように Popoh 海岸には Nyai Roro Kidul の祠がある。

Nyai Roro Kidul の祠 Popoh 海岸 2007/10/31 撮影

案内板

全景

入口近景

Boko 女王の宮殿遺跡 2014/8/27 撮影

Boko 女王の宮殿遺跡[38]

Prambanan 遺跡の南方約 2km の丘の上にあり、南海の王国への入り口の一つであると信じられており、南海の王国の住民とチャネリングを行う場所でもある。

宮廷内の浄化が起きた後、2008 年 7 月以降 Segarasewu の指導者層の交代が行われた。天上界の仕事のために南海の女王は cemthi pamutih と kuku pancanaka を掌握した第一位の女王として Ratu Ayu の師であった Firdaus I 世によって掌握された。同時に行政上のノウハウに関する専門家である Ratu Ayu は現世界の仕事を担当する筆頭女王として機能することとなった。

同時に他の女王たちも女王としての資質を持ち(人間界の三層と同じ)ali を卒業したレベルの知的能力を持つ人物に交代させられた。<175>次に、新組織が選ばれた。

(1)　社会コミュニティー学の専門家である Ratu Manisa (アチェ)が外務大臣に、

[38] 平地から 80m も高く(EL. 220m)独立した丘で、ジョクジャカルタとスラカルタ方面を一望できる戦略地点。夕日がきれいで有名。

(2)　社会地理学の専門家である Raru Maria Magalena (モロッコ)は内務大臣に

(3)　考古学の専門家である Ratu Maria Ulfa (モロッコ)、

(4)　Nabi Khidir の娘で国家運営の専門家である Ratu Uliya (スペイン)

(5)　天上界の特別な連絡員としての Ratu Firdaus II 世、

(6)　諸女王のアドバイザーをつかさどる Ratu Ageng としての Siti Hawa、

(7)　霊界の高位のアドバイザーである Hyang Ismaya (神秘学)、Juru Mertani と Ki Panjawi (広報)、Sunan Ngampel (宗教)、Sunan Kalijaga (文化)、その他の人物、となった

チャネリングを通じて各種の情報を得ているジャワの神秘主義者たちによると Segarasewu 王国の状況は 2008 年 10 月までの時点でこのようなものであった。上記の現実は南海の王国の存在が常にいろいろな混乱や潮の干満に色付けされているとはいえ、その存在は現在に至るまで確実に続いていると信じられているのである。

第五章　訳出終了 2018/10/11